※費用の明示がないものは無料

８月は道路ふれあい月間

渡ります　元気な命が　歩いてます

（令和６年度「道路ふれあい月間」代表標語）

国は、道路の役割・重要性への関心を高めるため、８月10日を「道の日」とし、８月を「道路ふれあい月間」に定めています。

道路は、私たちの共有財産であり、通行・水道管の埋設など、様々な用途に使用されています。この機会に、身近な道路の役割・重要性を再認識し、道路上に物を置かない、道路を汚したり壊したりしないなど、だれもが安全に使用できるようご協力をお願いします。

問　合　土木計画・交通安全課調整係☎3579－2520

８月は食品衛生月間
食中毒を防ぎましょう

高温多湿となる夏季は、特に細菌性の食中毒に注意が必要です。食品の取扱に気を付けて、食中毒を防ぎましょう。

食中毒予防の３原則

細菌をつけない

生の肉・魚・野菜には、細菌が付着していることがあり、手指・調理器具を介してほかの食品を汚染します。調理前後にしっかりと手を洗いましょう。また、調理器具はよく洗浄し、熱湯・塩素系漂白剤などで消毒しましょう。

細菌を増やさない

細菌の増殖を防ぐため、生の肉・魚、要冷蔵品は短時間でも放置せず、早めに冷蔵庫に入れましょう。また、扉の開閉による冷蔵庫内の温度上昇に注意し、早めに食べきりましょう。

細菌をやっつける

細菌は熱に弱いため、食品は十分に加熱してから食べましょう。食べ残してから時間が経ったもの、消費期限を過ぎたものは、細菌が増えている可能性があります。もったいなくても食べないようにしましょう。

問　合　生活衛生課食品衛生第三係☎3579－2336

「○○Payで返金します」にご注意ください

消費者センターでは、専門の相談員が消費生活に関する相談に応じています。

相談事例

通販サイトでアクセサリーを購入し、代金を振り込んだが、業者から「在庫がないので○○Payで返金します」と連絡があった。指示されたとおりにスマートフォンで○○Payの操作をしたら、返金してもらうはずが送金してしまった。

対処法

「○○Payで返金します」と言われたら、詐欺を疑いましょう。また、相手の指示に従ってスマートフォンなどを操作しないようにしましょう。

問　合　消費者センター☎3962－3511（相談専用、平日９時～16時30分）

講　座

Ｉ（あい）サロン

参加者のみなさんで気軽におしゃべりします。仲間づくりの場としてもご利用ください。▶**とき**＝８月６日㈫14時～16時▶**ところ**＝グリーンホール504会議室※当日、直接会場へ。▶**テーマ**＝地球の未来を考えるSDGs※工作あり▶**問**＝男女社会参画課男女平等推進係☎3579－2486

こどもアトリエ

▶**とき**＝８月10日㈯、10時～12時・14時～16時、各１回制▶**内容**＝紙で花と花瓶作り▶**講師**＝イラストレーター　チャン・ヨンス▶**対象**＝３歳～小学生とその保護者▶**定員**＝各回12組(申込順)▶**費用**＝１組1200円▶**ところ・申込・問**＝７月27日㈯朝９時から、電話で、区立美術館☎3979－3251〈月曜休館〉

かなざわ講座

▶**とき**＝９月６日㈮14時～15時30分▶**ところ**＝グリーンカレッジホール▶**内容**＝講義「渋沢栄一と金沢の関わり」▶**講師**＝金沢ふるさと偉人館元副館長　増山仁▶**対象**＝区内在住・在勤・在学の方▶**定員**＝70人(抽選)▶**申込・問**＝８月23日(必着)まで、往復はがき・電子申請(区ホームページ参照)で、生涯学習課文化財係☎3579－2636※申込記入例(８面)参照

フレイルチェック測定会

▶**とき・ところ**＝表参照▶**内容**＝講義「フレイル予防」・体力測定など▶**対象**＝区内在住の50歳以上で、要介護認定を受けておらず、半年後に行う同測定会に参加できる方※参加経験がある方は、前回の参加から半年以上経過した方。▶**定員**＝各日20人(抽選)▶**申込・問**＝８月16日(必着)まで、はがき・FAX・電子申請(区ホームページ参照)で、長寿社会推進課シニア活動支援係☎3579－2376FAX3579－4153※申込記入例(８面)の項目と生年月日、希望日(第３希望まで)を明記。

表　フレイルチェック測定会

とき	ところ
Ⓐ９月12日㈭	前野ホール
Ⓑ９月27日㈮	富士見地域センター
Ⓒ10月16日㈬	高島平区民館
Ⓓ10月28日㈪	成増アクトホール

※Ⓐ～Ⓓ14時～16時

いたばし区民文芸　５月・６月分

歌壇　宇田川寛之　選

▼**天**　木漏れ日を浴びて遊びし遠き日の母の呼ぶ声今に忘れず　久保親二

▼**地**　四月馬鹿ふざけあひたき人もなく花もて妻の墓参りせり　朝田めいき

▼**人**　八十路過ぎ共々援け合ひながら介護申請先送りせり　宮野恵基

▼**評**　天賞、幼少の頃の記憶。いつも母が自分を呼んでくれた。その声を懐かしく思い出す。地賞、エイプリルフールだからこそ、ふざけあいたい妻がいない。その寂しさ。人賞、夫婦ともに八十歳を過ぎ助け合ってきた。介護申請を先送りにすることで己を奮い立たせている。

俳壇　中村和弘　選

▼**天**　青空やえいと田植機のり入れる　須賀美代子

▼**地**　咲き誇る牡丹に雨の容赦なし　石橋富美子

▼**人**　兄を追う弟の補助輪風光る　久保親二

▼**評**　天賞、田植機を田にのり入れる瞬間の決意、気分が「えいと」の表現に結実、青空が肩を押してくれているようにも。地賞、自然はときに無情、雨が激しく牡丹をうつ。雨の中の牡丹がさらに美しい。人賞、弟の自転車はまだ補助輪付き、足の速い自転車を必死で追う。そんな兄弟の姿に眩い春の風。

川柳　尾藤川柳　選

▼**天**　入院の友へラインの応援歌　山之内富士代

▼**地**　人は皆他人と知った拉致悲劇　朝田めいき

▼**人**　眺めるも登るもマナー富士の山　廣上松四郎

▼**評**　天賞、あたたかな一句。便利になったSNSツールでの交流は、隔たりを越え、時間を越え、体調も越えて繋がります。地賞、盛り上がっていた拉致被害者奪還運動も時間ばかりが経過…。孤独を感じる瞬間も。人賞、日本人にとってスピリチュアルな存在。「心」をそこに置いてこそ眺めても実際に登っても…。「マナー」は「心」に通ずという事。

いずれも

▼**申込・問**＝８月１日(必着)まで、はがきに部門(短歌・俳句・川柳の別)、作品(１人各部門１作品で未発表のもの)と必要事項(申込記入例８面参照)を明記のうえ、(公財)板橋区文化・国際交流財団(〒173－0014大山東町51－1)☎3579－3130※文字は楷書で丁寧に。漢字にはふりがなも明記。※入選作品の他誌への投稿はご遠慮ください。

「広報いたばし」は点字版と録音版(カセットテープ)も発行しています。
詳しくは、広聴広報課広報係(☎3579－2022)へお問い合わせください